

《文献紹介》

旧ソ連・ロシア連邦の高等教育に関する文献紹介

西南学院大学 松永裕二

ソ連邦が崩壊して3年が経過した。新しく誕生したロシア連邦では、民主化、自由化、人間化、地域化、市場化、資本主義化などの標語の下に政治、経済、文化の諸面で大きな変革が生じつつある。これは、教育の面においても同様で、社会主義的人間観・教育観が根本から覆され、教育の新しいパラダイムの模索が始まった。この状況は、かつて敗戦国日本が「軍国主義」との訣別を決意し、アメリカン・デモクラシーに熱い夢を託した戦後のあの一時期を彷彿させるものがある。

今日ロシア連邦では、教育の理念、制度、内容、方法の新たな構築が、一方では諸外国とりわけ欧米諸国の民主主義教育の理論と実践から学ぶことを通して、他方では旧ソ連邦時代の教育遺産を正しく総括し、ポジティブに評価し得るものを見極めるという作業を通して、目指されているのである。

このことは、「ソビエト教育」を研究対象としてきたわが国のそして欧米の研究者にも当てはまる。ソ連邦時代の社会主義教育は、教育と労働を結合しながら「人間の全面的な発達」を図ることをその理念として掲げた。この理念の原形は、古くは、ギリシャ・ローマ時代の教育理念の中に見いだすことができるが、ソ連邦の指導者たちは、この理念をマルクス・レーニン主義的に味つけし直し、全面的に発達した「社会主義的な人間」の形成に邁進したのである。これは、教育史上人類にとって初めての試みであった。しかし、ソ連邦は崩壊し社会主義教育の実験も頓挫した。この約70年に渡る実験は、我々に一体どのような功罪をもたらしたのであろうか。冷戦体制下では、周知のようにそれぞれの「教育」がこの体制維持に大きな役割を果たした。ソ連邦が崩壊し世界で新しい国際秩序の構築が余儀なくされている今日、我々にも、ソビエト教育の功罪を客観的に評価し直し、教育の新たなパラダイムを共に創り出していくことが求められているのである。

筆者は、従来よりソ連邦の教育とりわけ高等教育に関心を持ち、拙論ながらこれまでに、高等教育とソビエト社会の階級構造の関係、高等教育機会の階級間・民族間格差の問題、高等教育機関への優先的入学政策、高等教育における民族・言語問題、大学生のキャンパス・ライフ、などに関して論文を公表してきた。⁽¹⁾ わが国のソビエト教育研究の対象は、伝統的に教育思想や歴史、初等・中等教育の制度・内容・方法改革に関するものが中心であった。ソビエト高等教育に関しては、その歴史研究の面ではある程度の蓄積がなされたものの、その社会学的・実証的研究や総合的・体系的研究は従来ほとんどなされてこなかったと言える。この意味では、拙論はそれなりに評価し得るものだが、これらは、しかしながら、まずその文献の面で必ずしも十分なものとは言い難かった。周知のように、ソ連邦に関する露語文献（図書、雑誌、新聞、その他の資料）の入手は、その閉鎖的な対外政策を端的に反映して、例えば出版の相当前から日本の代理店を通じて予約をしておかないと全く購入できないなど、どの分野においてもこれまで容易ではなかった。拙論の文献面での不十分さは、部分的にはこのようなソビエト研究の特殊事情によっている。とは言え、欧米でのソビエト高等教育に関する先行研究に関しても、その調査は十分でなかったことをやはり自認せざるを得ない。

そこで、本稿では、自己の文献調査の不十分さを補うためだけでなく、ソビエト高等教育に関心を有する人々に利用可能な情報を提供するためにも、欧米の関連文献（英文）を可能な限り網羅的に紹介する⁽²⁾ とともにわが国における最新の研究成果についても紹介したいと思う。

I 英文文献（図書）の紹介

まず、欧米で編集されたソビエト教育に関する文献目録を紹介する。管見ながら、ソビエト高等教育のみを対象とした文献目録の所在はわからない。旧ソ連邦では、高等教育に関する文献目録が編集されているので、参考までにこれも紹介しておく。次いで、ソビエト高等教育を取り上げている百科事典と図書を紹介することにする。図書については、その内容を逐一要約する紙幅はないので、その目次（部分的に高等教育が扱われている場合はその章・節のタイトル）のみを掲載することにする。露語文献の英訳書も紹介する。なお、以下はすべて、発行年度順に記載している。

1 ソビエト教育（高等教育）に関する文献目録

- (1) Yushin Yoo(comp.), *Soviet Education: An Annotated Bibliography and Readers' guide to Works in English, 1893-1978*, Greenwood Pr., 1980, 408 p. 北海道大学教育学部図書館所蔵（以下北大教）016.3。ユーシン・ユー編『ソビエト教育：英語による著作の注釈付文献目録・ガイド（1893-1978年）』、翻訳された雑誌論文も含め1587点を、66分野に分けてアルファベット順に記載。なお、編者はケンタッキーの州立マレー大学の図書館学教授である。

- (2) Brickman, W.W & Zepper, J.T. (comp.), *Russian and Soviet Education, 1731-1989: a multi-lingual annotated bibliography*, N.Y. & Ldn, Garland Press, 1992, 538 p. 北大教016.37。ブリックマン&ゼッパー編『ロシアとソビエトの教育, 1731-1989年：注釈付・多言語文献目録』、重要な雑誌論文、博士学位論文、露語著書を含め1755文献のタイトルを掲載。

- (3) Tania Konn(Editor), *Soviet Studies Guide*, Bowker-Saur, 1992, 237 p. 西南学院大学図書館所蔵（以下西図）238 12。タニア・コン編『ソビエト研究の手引き』。

本書はソビエト教育に関する文献目録ではないが、以下のテーマ毎に当該分野を代表する専門家による適切な解説（5000字程）と当人が推奨する主要な英文文献（100点以内で注釈付）が示されており、ソビエト高等教育研究に関しても特に「第9章科学とテクノロジー」などは有益な情報を提供している。1章 国土、環境、国民、2章 ソビエト史、3章 社会と文化、4章 政府と政策、5章 国際関係、6章 軍事力、7章 経済、8章 ビジネス、9章 科学とテクノロジー、10章 総合レファランソ。なお、編者はグラスゴー大学の Head of the Area Studies Divisionである。

- (4) Под редакцией В. Л. Бирзовича и К. С. Куйбышевой, *Университетское образование в СССР и за рубежом, часть 3, Указатель советской и иностранной литературы (1973-1977)*, Издательство Московского университета, 1981, 240 с. 松永蔵書。

V.L. ビイルゾヴィッチ, K.S. クイビシエヴァ編『ソ連邦及び諸外国の大学教育, 第3部, ソビエト及び外国文献（1973-1977）の目録』、大学での学習活動、研究活動、社会政治活動、国際交流、大学の管理・運営などに関する内外の文献（ソ連邦-1403点、世界の諸国-3421点）を掲載。1966年、1974年、1975年に発行された文献目録の続編。

- (5) Составитель В. И. Милкова, *Высшее образование в СССР и за рубежом, Библиографический указатель книг и журнальных статей (1976-1980)*, 《Высшая школа》, 1985, 230 с. 松永蔵書。

V.I.ミルコフ編『ソ連邦と諸外国の高等教育，図書，雑誌論文の目録(1976 -1980)』全2巻，ソビエト高等教育の諸分野（高等教育に関するマルクス・レーニン主義の古典，共産党の高等教育政策，高等教育の現状，大学への入学準備，大学での教育・職業指導，専門家養成，科学研究，高等教育のシステムなど）に関する文献（7700点）と諸外国の高等教育に関する文献（445点）を掲載。

2 百科事典

- (1) Asa S.Knowles(Editor-in-Chief), *The International Encyclopedia of Higher Education*, Volume 8, Jossey-Bass Publishers,1978. Union of Soviet Socialist Republics(by Liliya Filippova),pp.4185-4194, Science Policies Union of Soviet Socialist Republics(by Vladimir A. Fedorovich), pp.3729-3739. 西図377 033 1-8 。ノールズ編『高等教育国際百科事典』。
- (2) Philip G.Altbach(ed.), *International Higher Education: An Encyclopedia*.2 Vols. Garland,1991. Soviet Union(by George Avis), pp.781-798, Bibliography, pp.1129-1130. 北大教378 A 179 2 。アルトバック編『国際的高等教育百科事典』。
- (3) Burton R.Clark,Guy R.Neave(Editor-in-Chief), *The Encyclopedia of Higher Education*,Volume 1, Pergamon Press, 1992. Soviet Union(by V.A.Afanassiev), pp. 643-663. 西図377 033 2-1 。クラーク&ニーヴ編『高等教育百科事典』。

3 図 書

- (1) Alexander G.Korol, *Soviet Education for Science and Technology*,The Technology Press of Massachusetts Institute of Technology and John Wiley & Sons,Inc., 1957, 513 p. 九州大学教育学部図書館所蔵（以下九大教）。コロール『科学とテクノロジーのためのソビエトの教育』，5章 ソビエト高等教育：制度，6章 ソビエト高等教育：選抜，入学登録，卒業，7章 ソビエト高等教育：アカデミック・プラン，8章 ソビエト高等教育：工科大学，総合大学，教育大学のカリキュラム，9章 ソビエト高等教育：教員，教科書，施設・設備，10章 ソビエト高等教育：教授過程，11章 ソビエト高等教育：大学院教育，12章 コメントと省察。
- (2) *Soviet Commitment to Education Report of the U.S. Education Mission to the U.S.S.R.*, Greenwood Press, Pub.,1959,135 p. 九大教。『ソビエトの教育へのコミットメント』（ソビエト教育調査団報告書），8章 教員養成，9章 教育科学アカデミー，10章 高等教育。
- (3) G.Z.F.Bereday & others(eds.), *The Changing Soviet School The Comparative Education Society Field Study*, Constable & Company Limited, 1960, 514 p. 九大教。
ベレディ他編『変貌するソビエトの学校 比較教育学会のソビエト現地調査研究』，11章 高等教育，12章 教員養成，14章 モスクワの教育科学アカデミー。
- (4) G.Z.F.Bereday and Jaan Pennar, *The Politics of Soviet Education*, Frederik A.Praeger, Pub., 1960, 217 p. 九大教。ベレディ & ペンナー編『ソビエト教育の政治学』，10章 モスクワ大学：ソビエト高等教育のサミット（by Burton Rubin），11章 ソビエト教育に関する若干の社会的展望：上級研究のための選択と訓練（by Mark G. Field）。

- (5) Raymond Poignant, *Education and Development in Western Europe, the United States, and the U.S.S.R. a Comparative Study*, Teachers College Press, 1969, 329 p. 松永蔵書。ポワナン『西欧諸国, アメリカ, ソビエトにおける教育と発達 比較研究』, 2章 中等職業・技術教育, 高等教育の組織と現状。
- (6) Seimour Rosen, *Education and Modernization in the USSR*. Reading(Mass.), Addison-Wesley Pub., 1971, 234 p. ローゼン『ソ連の教育と近代化』, 4章 研究と開発を通じた近代化, 6章 高等教育。
- (7) Kalil I.Gezi(ed.), *Education in Comparative and International Perspectives*, Holt, Rinehart and Winston, Inc., 1971, 562 p. 松永蔵書。ゲチ編『比較・国際的展望における教育』, 19章 社会的地位と高等教育へのアクセス: アメリカとソビエトの比較(by Robert A. Feldmesser)。
- (8) Harold Noah & Beatrice B.Szekely(eds.), *The Training of Engineers for the Soviet Economy*, Soviet Education, June-July 1972/Vol.XIV,No.8-9, International Arts and Sciences Press(IASP), 1972, 187 p. 露語文献の英訳。九大教。
ノア&スゼクリィ編『ソビエト経済のためのエンジニアの訓練』, 若いエンジニア(by S.A.Kugel and O.M.Nikandorov), 科学技術の進歩と高等教育: 70年代の大卒者はどのようになるか? (Vestnik vysshei shkoly, 1971, No.3), ソビエトにおける公教育, 科学, 文化 (Vestnik statistiki, 71, No.9)
- (9) Janusz J.Tomiak, *The Soviet Union*, (World education series), London, David & Charles, 1972. 144 p. 北大教371。トミアク著『双書・世界の教育・ソビエト連邦』, 4章 高等教育と成人教育, 5章 教員の養成とその地位。〔邦訳: 海老原他訳『ソビエトの学校』, 明治図書, 1976〕。
- (10) Murray Yanowitch and Wesley A.Fisher(eds.), *Social Stratification & Mobility in the USSR*, IASP, 1973, 403 p. 露語文献の英訳。松永蔵書。
ヤノウィチ&フィシャー編『ソビエトにおける社会階層と移動』, 13章 インテリゲンチヤの補充の社会的源泉(by M.N.Rutkevich and F.R.Filippov)。
- (11) Paul Hollander, *Soviet and American Society A Comparison*, Oxford University Press, 1973, 476 p. 松永蔵書。ホランダー『ソビエト社会とアメリカ社会 比較研究』, 5章 教育, 宗教, 死における社会的価値 (1米ソ社会における教育の社会的役割 pp.156-163)。〔邦訳: 寺谷・渡辺訳『アメリカ人とソビエト人 社会学的比較』, 紀伊國屋書店, 1977年〕。
- (12) Susan Jacoby, *Inside Soviet Schools*, Schocken Books, 1975, 248 p. 松永蔵書。
ジェイコビィ『ソビエト学校の内側』, 7章 平等な教育機会。
- (13) Harold Noah & Beatrice B.Szekely(eds.), *Economics of Higher Education*, Soviet Education, November 1975/VOL.XVIII,NO.1, IASP, 1975, 113 p. 露語文献の英訳。九大教。
ノア&スゼクリィ編『高等教育の経済学』 (高等教育の経済学に関する全ソ科学会議の資料), 第一部 高等教育の経済学の理論と方法論の諸問題, 第2部 大卒の専門家の養成計画, 養成の効率性とその活用。
- (14) Harold Noah & Beatrice B.Szekely(eds.), *Higher Education During the Tenth Five-Year*

- plan and the Twenty-fifth Party Congress*, Soviet Education, December 1976/VOL.XIX,NO. 2, IASP, 1976, 116 p. 露語文献の英訳。九大教。
- ノア&スゼクリイ編『第10次5か年計画中の高等教育と第25回ソ連邦党大会』, 党大会前夜の高等教育 (by V.P.Eliutin), 新5か年計画前夜の高等教育 (by I.Obraztsov), 他。
- (15) A.Popovecz, *Higher Education in the Soviet Union: A Descriptive Study*, University Microfilms International, 1976, 348 p. Doctoral Disertation(Wayne State University).
ポポヴェツ『ソビエトの高等教育：記述的研究』(博士論文), 1章 序論, 2章 先行研究と文献, 3章 歴史, 4章 行政, 5章 学生サービス, 6章 成人, 夜間, エクステンション教育, 7章 財政, 8章 諸問題と批判, 9章 結論。
- (16) J.Karabel and A.H.Halsey(eds.), *Power and Ideology in Education*. Oxford U.P., 1977, 670 p. 松永蔵書。北大教370.1。カラベル&ハルゼー編『教育における権力とイデオロギー』, 12章 ソビエトにおける社会的地位と高等教育機会の不平等 (by R.Dobson)。〔抄訳：潮木・天野・藤田編訳『教育と社会変動』上下, 東大出版会, 1980年〕。
- (17) N.Kuzin & M.Kondakov(eds.), *Education in the USSR*, Progress Publishers, 1977, 189 p. 露語文献の英訳。松永蔵書。クージン&コンダコフ編『ソビエトの教育』, ソビエトの教員 (by P.V.Zimin), 高等・中等専門, 職業・技術教育 (by M.N.Kolmakova)。
- (18) Murray Yanowitch, *Social and Economic Inequality in the Soviet Union*, M.E.Sharpe, Inc., 1977, 197 p. 松永蔵書。
ヤノウッチ『ソビエトにおける社会的・経済的不平等』, 3章 教育機会における社会的不平等。
- (19) Thomas Anthony Jones, *Higher Education and Social Stratification in the Soviet Union*, University Microfilms International, 1978, 538p. Doctoral Disertation(Princeton University).
ジョーンズ『ソビエトにおける高等教育と社会階層』, 序論, 1章 ソビエト社会研究における論点と問題点, 2章 大学の選択と主体, 3章 高等教育機関入学のための選抜過程, 4章 大学生の社会的構成, 5章 大学生のタイム・バゼット, 6章 大学での成績に関連するもの, 7章 大学生の社会・政治的態度と活動, 8章 大卒者の労働力への参入, 結論。
- (20) Gail Warshofsky Lapidus, *Women in Soviet Society Equality, Development, and Social Change*, University California Press, 1978, 381 p. ラピダス『ソビエト社会なかの女性平等, 発達, 社会変化』, 4章 性的平等を可能にする条件：積極的な行動 ソビエト・スタイル (女性雇用のための規定：保護を通しての平等, 保育制度の発達, 教育機会の拡大, 教育的オリエンテーションでの性に基づく差異, 高等・専門教育における女性—pp.135—160)。
- (21) Beatrice B.Szekely(ed.), *The Scientific-Tecnological Revolution and the Development of Higher Education*, Soviet Education, April-May 1978/VOL.XX, NO.6—7.IASP, 1978. 露語文献の英訳, 九大教。スゼクリイ編『科学技術革命と高等教育の改革』, 第1部 ソビエトにおける高等教育の発達の社会・経済的諸問題, 第2部 高等教育の計画と予測面での諸問題。
- (22) Dunstan, John, *Paths to Excellence and the Soviet School*, Windsor, NFER, 1978, 302 p.
ジョン・ダンスタン著『卓越への道とソビエト学校』, 英才教育学級・学校 (美術, スポーツ, サークス, 外国語, 数学, 物理) を検討。
- (23) Jerry G.Pankhurst & Michael P.Sacks(eds.), *Contemporary Soviet Society*, Prager, 1980.

- サックス他編『今日のソビエト社会』, 4章 社会主義と社会階層(by Richard B.Dobson), 5章 教育と機会(by Richard B.Dobson)。
- (24) Joseph Zajda, *Education in the USSR*, Pergamon Pr., 1980, 272 p. 広島大学・大学教育研究センター所蔵(以下大教セ), 西図。ザイダ『ソ連邦の教育』, 2章 組織としてのソビエトの学校(職業・技術教育, 高等教育を含む)。
- (25) Mervyn Matthews, *Education in the Soviet Union: Policies and Institutions since Stalin*, Ldn., Allen & Unwin, 1982, 225 p. 大教セ。マーヴィン・マッシュューズ『ソ連の教育: スターリン以後の政策と制度』, 3章 下級・中級技術学校, 4章 フルシチョフとブレジネフの下での高等教育機関, 5章 若干の学生問題。〔同著者による *Privilege in the Soviet Union*, George Allen & Unwin Ltd, 1982(邦訳: 木村汎監訳『ソ連における特権—共産主義下のエリートのライフ・スタイル』, 日本工業新聞社, S58年)では, 高等教育機関の諸問題が扱われている。また, 同氏の *Party, State, and Citizen in the Soviet Union: A collection of documents*, Sharpe, 1989—スラブ研究所所蔵, では大卒者の就職(国家による就職先への配分)について検討されている〕。
- (26) David Lane, *The End of Social Inequality? Class, Status and Power under State Socialism*, George Allen & Unwin, 1982, 176 p. 松永蔵書。
 レイン『社会的不平等の終わり? 国家社会主義の下での階級, 地位および権力』, 3章 社会的不平等: ヒエラルキーと特権(性による差異, 民族による差異, pp.74-92), 4章 社会移動と政治階級(インテリゲンチヤの補充, 教育の機会, pp.104-116)。〔同著者による *Soviet Economy & Society*, Basil Blackwell, 1985では, 8章(教育システム)にて高等教育の構造, 高等教育内部での利害, 高等教育への選抜が検討されている。pp.291-304〕。
- (27) Beatrice B.Szekely(ed.), *Soviet Research on Higher Education: A New Field*, Soviet Education, October 1982/VOL.XXIV, NO.12, IASP, 1982, 露語文献の英訳。九大教。
 スゼクリイ編『ソビエトの高等教育研究: 新しい分野』, 編集者の序論, 高等教育の心理学的・教育学諸問題(by T.V.Kudriavtsev), ラウンド・テーブル: 高等教育の心理学と教育学—諸問題, 結果, 展望(*Voprosy psikhologii*, No.3-4, 1981), 高等教育の教育学と心理学の研究・組織上の諸問題(*Voprosy psikhologii*, No.4, 1981)。
- (28) Konstantin M.Simis, *USSR: The Corrupt Society The Secret World of Soviet Capitalism*, John Brockman Associates Inc., 1982, サイミス『ソ連邦: 腐敗した社会 ソビエト資本主義の秘密の世界』, 8章 日常生活に欠かせぬ賄賂(汚れた無償教育, 学年試験にまず賄賂)。〔邦訳: 木村明生訳『ソビエト 権力と腐敗 汚職社会の構図』, PHP 研究所, 1982年〕。
- (29) David K.Shipler, *Russia: Broken Idols, Solemn Dreams*, Times Books, 1983。
 シプラー『ロシア: 壊れた偶像・厳粛な夢』, 4章 より多くの平等(配属という名の就職), 階級と社会的流動(教育における出世への岐路)。〔邦訳: 川崎隆司監訳, 同タイトルで上・下, 時事通信社, 1984年〕。
- (30) J.J.Tomiak(ed.), *Soviet Education in the 1980s*. Ldn., Croom Helm, 1983, 326 p. 西図, 北大教370.9。トミアク編『1980年代のソビエト教育』, 5章 ソ連邦の職業教育(by F.O'Dell), 8章 ソ連における高等教育へのアクセス(by George Avis)。

- (31) F.R. Filippov, *The Sociology of Education*, Soviet Education, September-October 1984/VOL. XXVI, NO. 11(part I)-12(part II), IASP, 1984, 露語文献の英訳。九大教。
 フィリップポフ『教育の社会学』, 第2部4章 職業教育の社会的諸問題(4 高等教育, 5 継続教育の問題, を含む pp.53-69), 5章 教員カドルの社会的諸問題。
- (32) Vladimir Golyakhovsky, *Russian Doctor A Surgeon's Life in Contemporary Russia and Why He Chose to Leave*, St.Martin's /Marek, 1984.
 ゴリャホフスキー『現代ロシアでの外科医の生活, なぜ彼は国を去ることを選ぶのか』, ソ連邦の医科大学の実態を暴露〔邦訳: 吉本晋一郎訳『ロシアンドクター 亡命外科医の診たソ連』, 原書房, 1985年〕。
- (33) V.P. Eliutin, *Higher Education in a Developed Socialism*, Soviet Education, July 1984/VOL. XXVI, NO. 9, November 1984/VOL. XXVII, NO. 1, December 1984/VOL. XXVII, NO. 2, June 1985/VOL. XXVII, NO. 8, July-August 1985/VOL. XXVII, NO. 9-10, September-October 1985/VOL. XXVII, NO. 11-12, IASP, 1984-1985. 露語文献の英訳。九大教。
 エリューチン『発達した社会主義の高等教育』, 編者(B.B. Szekely)の序論, 第1部 ソ連邦国民教育制度の組織原理と機構 1章 ソビエト教育システムの原理と構造, 2章 ソ連邦における高等教育の発達の歴史, 第2部 高等教育の更なる発展と専門家養成の質の改善, 1章 ソビエト社会の社会経済的・科学技術的進歩のニーズに一致した高等教育の更なる改善, 2章 高等教育における授業システムの発達の諸問題, 3章 学生の共産主義教育, 4章 大学入学制度, 5章 高等教育システムにおける科学研究活動, 6章 研究・教育要員, 7章 専門家養成の計画・予測と高等教育の発達, 8章 高等教育機関の物的・技術的基盤と学生の生活基盤, 9章 ソビエト高等教育の国際活動, 10章 高等教育の行政・組織・管理, 結論に代えて。〔著者のエリューチンは当時ソ連邦中等専門・高等教育省大臣。第1部については邦訳がある-水谷邦子訳『ソ連の高等教育 歴史篇』, 文雅堂銀行研究社, 1988年〕。
- (34) J. Tomiak(ed.), *Western Perspectives on Soviet Education in the 1980s*. MacMillan, 1986. 217 p. 北大教370.9, 松永蔵書。トミアク編『1980年代ソビエト教育に関する西側の見解』, 7章 ソ連邦における高等教育へのアクセスの諸問題(by D. Glowka), 8章 1980年代の職業訓練: 問題と見通し(by F. Kuebart)。
- (35) Frank M. Sorrentino & Frances R. Curcio(eds.), *Soviet Politics and Education*, University Press of America, 1986, 415 p. 西図。ソレンチーノ&クルシオ編『ソビエトの政治と教育』, ソ連邦での職業教育(by F. O' Dell, pp. 383-415.)。
- (36) G. Avis(ed.), *The Making of Soviet Citizen: Character Formation and Civic Training in Soviet Education*. Ldn, Croom Helm, 1987, 251 p. エイヴィス編『ソビエト市民の形成(ソビエト教育における人格形成と市民的訓育)』, ソビエトの高等教育における共産主義的な指導に対する学生の反応(by G. Avis)。
- (37) J. Riordan(ed.), *Soviet Education: the Gifted and the Handicapped*. Routledge, 1988, 194 p. 北大教371.9, 松永蔵書。リオダン編『ソビエト教育: 才能に恵まれた者とハンディキャップをもった者』, 7章 高等教育での学生のプロフィール(by G. Avis)。
- (38) Jon Lauglo & Kevin Lillis (eds.), *Vocationalizing Education: An International*

- Perspective*, Pergamon, 1988, 339 p. 北大教370113。ログロ&リリス編『職業教育化：国際的な概観』, 11章 近年のソビエトの職業教育化政策(by F.O' Dell)。
- (39) J.L.Porket, *Work, Employment and Unemployment in the Soviet Union*, Macmillan, 1989, 250 p. 西図。ポーケット『ソ連邦における労働, 雇用, 失業』, 8章 教育資格の利用(教育への態度, 教育要件と教育資格, スキル・レベルを上回る雇用, スキル・レベルを下回る雇用, スキル・レベルでの雇用, 職業の変化)。
- (40) Samuel D.Kassow, *Students, Professors, and the State in Tsarist Russia*, University of California Press, 1989, 438 p. 西図。
カソウ『専制ロシアにおける大学生, 教授, 国家』, 序論, 1章 ロシアの高等教育, 2章 アイデンティティを求める大学生たち, 3章 学生運動の噴出 1899-1901, 4章 岐路に立つ教授団, 6章 1905, 7章 新しい可能性 1906-1910, 8章 対面, 結論。
- (41) Boris Ivanovich Govako, *The Student Family*, Soviet Education, June-July 1990/VOL. 32, NO.6-7, M.E.Sharpe Inc., 1990. 西図。露語文献の英訳。ゴバコ『学生家族』, 第1部 編者(Anthony Jones)の序論, 著者の序論, 個人の生活における家族, 結婚への”序曲”, 第2部 部分的なポートレート, ビジネスのための時間はある, 楽しみについてはどうか?, 生活は薔薇のベッドではない, 学生家族の中の子ども, 結論。
- (42) Anthony Jones, Walter D.Connor, David E.Powell(eds.), *Soviet Social Problems*, Westview Press, 1991, 337 p. 西図。ジョーンズ・コナー・パウエル編『ソビエトの社会問題』, 8章 機会の均等(by W.D.Connor), 12章 学校の諸問題(by A.Jones)。
- (43) J.Dunstan(ed.), *Soviet Education under Perestroika*, Routledge, 1992, 230 p.
ダンスタン編『ペレストロイカ下のソビエト教育』, 8章 ソビエト職業教育の改革: 経済・労働・教育政策の相互接点(by F.Kuebart), 9章 ソビエト高等教育の改革をめぐる論議と論争: 制度の再検討(by S.Kerr), 10章 科学技術革命を教えること?: ソビエト高等教育の再構築へむけた継続する努力(by H.D.Balzer)。
- (44) Max A.Eckstein & Harold J.Noah, *Secondary School Examinations International Perspectives on Policies and Practice*, Yale University Press, 1993, 283 p. 西図。
エクスタイン&ノア『中等教育修了認定試験 政策と実際の国際的展望』, 1章 序論: 試験の比較研究, 第1部 記述(2章 大学志願者と彼らの学校: アメリカ, スウェーデン, ソビエト, 3-4章), 第2部 比較(5-8章), 第3部 分析(9-10章), アペンデックスとして「国語」と「数学」の入試問題(中国, 英国, ドイツ, 日本, ソビエト, スウェーデン, アメリカ)。
- (45) Jones, Anthony(ed.), *Education and Society in the New Russia*. Sharpe, 1993, 256 p.
西図。ジョーンズ編『新しいロシアの教育と社会』, 1章 ソビエト期の教育遺産(by Anthony Jones), 2章 ロシア高等教育の改革計画(by Harley D.Balzer), 3章 ロシア教育における多様性(by Stephen T.Kerr), 4章 賢い子供たちとカリキュラム改革(by John Dunstan), 5章 サンクト・ペテルブルグの独立学校(by M.A.Westbrook 他), 6章 ソビエト及びポスト・ソビエト期における歴史教育と資料編纂(by W.B.Husband), 7章 ロシアの中等学校での歴史・社会科教育の改革(by J.G.Vaillant), 8章 新しい経済におけるマネジメントのための教育(by Sheila M.Puffer), 9章 ロシアでの医学教育の改革

(by J.V.Brown and N.L.Rusinova) , 10章 自由新聞のためにロシアを教育すること(by Nicholas Daniloff) , 11章 教員養成の諸問題(by S.Webber & T.Webber) , 12章 学校と社会で直面している性の問題(by Lynne Atiwood) , 13章 卒業後どうする(by Deborah Adelman) , 14章 ポスト・ソビエト期における労働市場と教育(by I.V.Kitaev) 。

(46) Irina V.Mckeehan(ed.), *Surveys of Political Opinion and National Attitudes Among Students and Teachers*, Russian Education and Society, April-May 1993/VOL.35,NO.4 (Part 1)-5(Part 2), M.E.Sharpe Inc., 1993, 西図。露語文献の英訳。マッキハン編『大学生・教員の政治意見と民族的態度に関する調査』, 第1部 大学生の社会主義, 民族主義, ペレストロイカに対する態度, 第2部 大学生と大学教員における政治的ステレオタイプ, 大学生と大学教員における民族的ステレオタイプ。

II わが国におけるソビエト高等教育に関する最新文献の紹介

冒頭で述べてように, わが国ではソビエト高等教育研究は未開拓の分野であったが, 1994年に出版された相原次男著『ソビエト高等教育の社会政策的研究』(風間書房, 312頁)は, 注目すべき優れた研究である。そこで, 以下, この研究を紹介することにする。

本書は次の3部分から構成されている。第一部は, 本書の中心的部分で, ソビエト高等教育の3つの過程—入学(input), 教育(through-put), 卒業・就職(output)—について, 具体的にはinputに関しては, 大学入試政策が階級選抜の入試政策から優先入学政策へという観点から(第I章), through-putに関しては, 大学教育政策が社会科学教育(思想性・イデオロギー教育)を中心として(第II章), outputに関しては, 大卒者の職業配分政策(第III章)が考察されている。この部分は, 著者の学位論文(1992年6月に広島大学より授与)で, その主要な目的は, 「ソビエト高等教育がいかなる専門家を養成し, 国民経済の諸分野に輩出してきたか。この問題に社会政策的側面からアプローチし, その成果及び効率性を社会的・歴史的資料に基づき考察すること」にある。

第二部は, 補遺論文「ソビエト社会におけるインテリゲンチヤ形成の問題—ペレストロイカ以前とペレストロイカ期の比較から—」である。ゴルバチョフのペレストロイカの進行と共に登場してきた大学における人文主義教育と従来の社会科学教育が比較検討され, 人文主義教育の可能性が歴史と現状から考察されている。第三部は, 本書の内容構成と深く係わり, かつ時系列的に量的変化が迎れる高等教育関係の統計・社会学調査資料(課程別学生総数など26の表と1つの図)である。

著者によれば, 本研究(第一部)は, 次の特色を有している。第1に, 日本において比較的未開拓であった, ソビエト高等教育研究を考察した点。第2に, ソビエト高等教育の研究に, 最近, 学校社会の分析視点として提唱されているinput—through-put—outputという社会学的視点を取り入れたこと。第3に考察の総合性で, 本研究では専門家の養成・輩出に関わる社会政策それ自体の研究ではなくて, その政策と現実(学生・大学教員の反応・作用)との相互作用の分析に力点が置かれていること。第4に研究の実証性で, 本研究では露語の社会学的文献・資料を中心としながらも英語文献も多用され, 露語文献に欠如しがちな客観性が可能な限り補われている点。

著者が本研究の特色として掲げた上記4点は, 筆者自身, これまでの研究において常に心がけながらも未だ果たしていない研究方法・態度である。本研究は, 国の内外を問わず, ソビエト高等教育

に関する社会的・実証的な総合的・体系的研究の嚆矢であり、斬新な研究方法、周到な文献調査・収集とその適切な活用、明確な論理構成、熟考された結論などに照らして、第一級の研究と評価できるものである。本研究は、今後のソビエト高等教育研究にとってのみならず、ソビエト研究にとっても、絶対にフォローしなければならない必須文献となることは間違いないであろう。

注

- (1) それらは以下である。①「ソビエト社会の階級構造と高等教育機会」、『大学論集』,第11集, 広島大学・大学教育研究センター, 1982年, ②「ソビエトにおける高等教育機会の共和国間及び民族間格差」,『大学論集』,第12集, 広島大学・大学教育研究センター, 1983年, ③「ソビエトにおける高等教育機関付設予科の現状と課題」,『西南学院大学児童教育学論集』,第11巻1-2号, 西南学院大学, 1985年, ④「ソ連における大学生の多様化と高等教育の改革」,『比較教育学』,13号, 1987年, ⑤「ソ連の高等教育における民族・言語問題」,『ソビエト研究』,第4号, 1990年, ⑥「ソ連の高等教育改革の現状と課題」(川野辺・嶺井との共著),『比較教育学研究』,17号,1991年, ⑦「キャンパス・ライフの日・旧ソ比較—学生結婚を中心に—」,『研究談叢 比較教育風俗』,第3号, 1993年。
- (2) 本稿作成に当たっては、所伸一氏(北海道大学・教育学部)作成の文献目録(「ソビエト期教育に関する欧米の先行研究(1) 1967年以降の単行本」)を参考にさせていただいた。記して感謝の意を表したい。なお、所氏の文献目録は、同氏が1994年の3月に『JANERE』(ロシア教育情報ネット)の会員に配付したものである。